

“ごみの減量化、みんなで考えよう！”

～ 平成27年度 ごみ対策アンケート ～

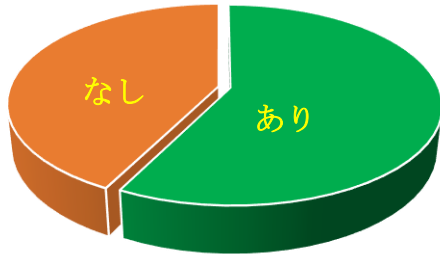
小園自治会会員の皆さんに平成27年9月にごみ対策のアンケートをお願いいたしました。お忙しいにも関わらず、1,053世帯の皆さんからご協力をいただきました。

ごみの減量化に向けては「エコパックの利用や生ごみの水切りをしっかりと行う」など努力されている回答が寄せられました。また、高齢化に伴い「資源物の当番や集積所まで持って行くのが大変だ。有料でも戸別収集をお願いしたい」などの声も聞こえてきました。集計結果は次のとおりです。



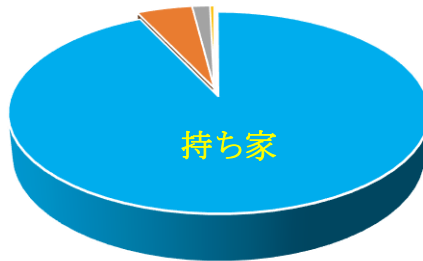
地域がするべきことは 家庭がするべきことは みんなで考えましょう！

1 回収状況



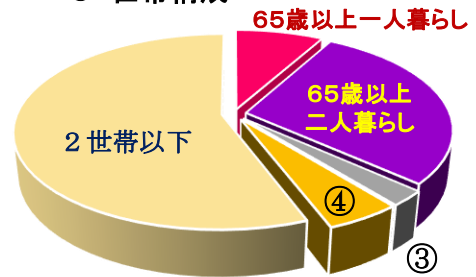
区分	回答数	回収率
配布数	1,830	58%
解答数	1,053	

2 住居の形態



区分	回答数	比率
持ち家	971	92%
集合住宅	53	5%
借家	17	2%
その他	4	0%

3 世帯構成

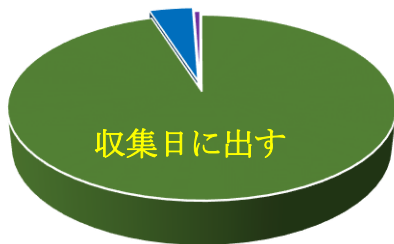


区分	回答数	比率
① 65歳以上一人暮らし	84	8%
② 65歳以上二人暮らし	297	28%
③ 大人の一人暮らし	26	2%
④ 3世帯以上	52	5%
⑤ 2世帯以下	580	55%

集合住宅の協力が少ない

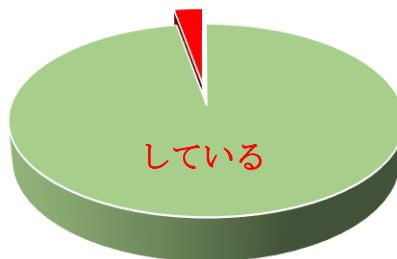
3軒に1軒は65歳以上の高齢者世帯

4 可燃ごみは



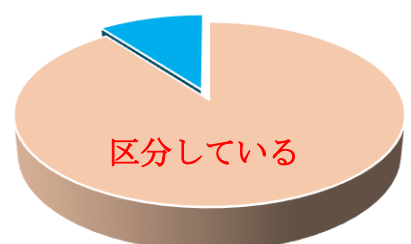
区分	回答数	比率
収集日に	954	94%
2回に1回	45	4%
3回に1回	6	1%

5 生ごみは水切りを



区分	回答数	比率
している	1,007	96%
してない	29	3%

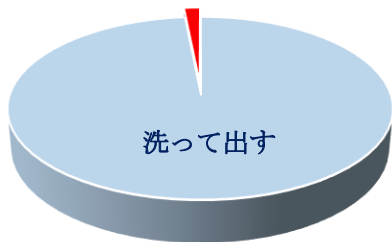
6 資源物ミックスペーパーは



区分	回答数	比率
分別している	954	88%
分別してない	106	10%

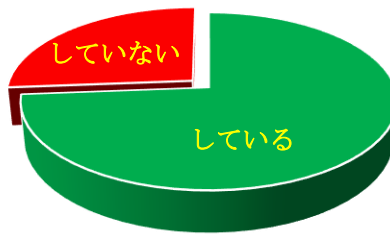
資源物のリサイクルやごみの減量化の大切さを理解されている

7 プラスチック容器は



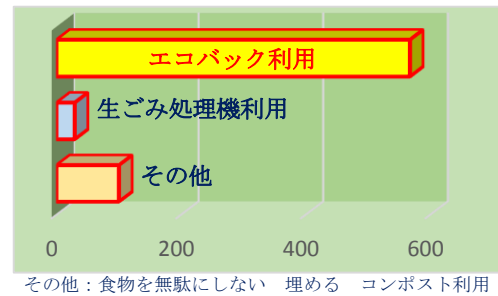
区分	回答数	比率
洗って出す	1,024	97%
洗わない	16	2%

8 ごみを減らす工夫は



区分	回答数	比率
している	745	71%
していない	265	25%

工夫の内容は



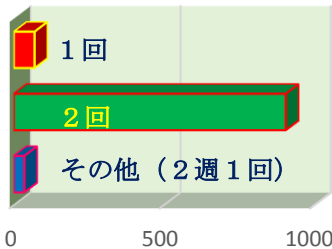
区分	回答数	比率
エコバック利用	567	54%
生ごみ処理機利用	29	3%
その他	100	11%

その他：食物を無駄にしない 埋める コンポスト利用

生ごみ処理機の利用率が低い

9 資源物等は1週間に何回出したいですか

可燃ごみ



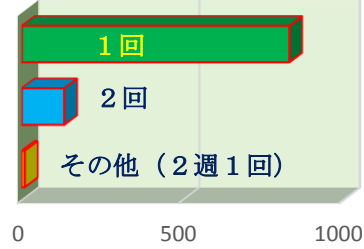
区分	回答数	比率
週1回	59	7%
週2回	906	86%
その他	35	3%

資源物



区分	回答数	比率
週1回	746	71%
週2回	142	13%
その他	29	3%

プラスチック



区分	回答数	比率
週1回	832	79%
週2回	142	13%
その他	9	1%

10 資源物の回収方法は

可燃ごみ



区分	回答数	比率
戸別	126	12%
現在の方法	877	83%

資源物



区分	回答数	比率
戸別	147	14%
現在の方法	841	80%

プラスチック

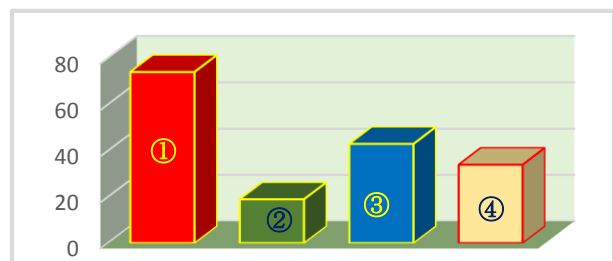


区分	回答数	比率
戸別	98	9%
現在の方法	886	84%

高齢者世帯は戸別回収を要望している

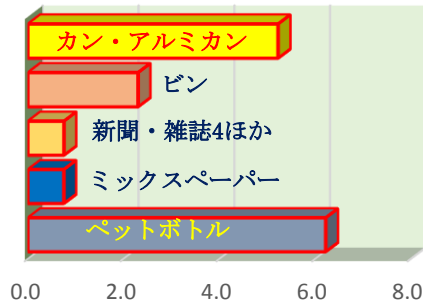
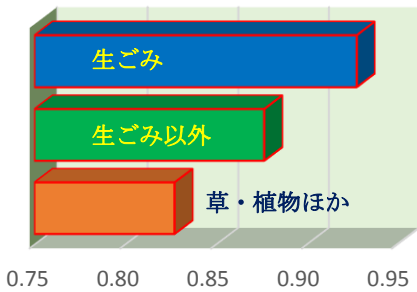
〈戸別を選んだ世帯の理由〉

区分	回答数	比率
① 運ぶのが大変	74	7%
② 決められた時間に出せない	19	2%
③ 当番が体力的にできない	43	4%
④ その他	34	3%



11 可燃ごみの量は(1世帯当たり)

12 資源物の量は(1世帯当たり)



プラスチック回収日の状況



資源物回収日の状況

単位:袋

区分	1回当たり	1世帯当たり
生ごみ	977	0.93
生ごみ以外	923	0.88
草・食部ほか	871	0.83

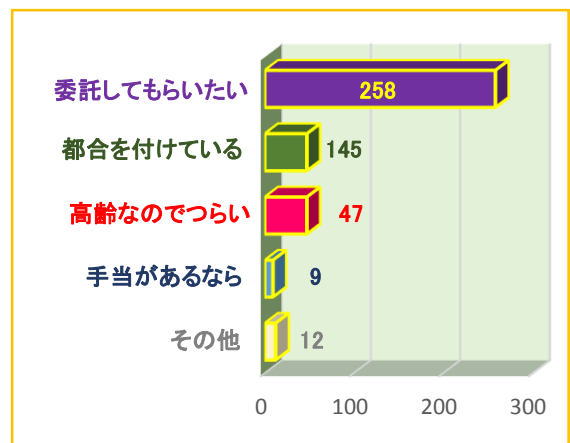
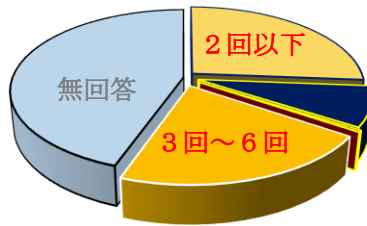
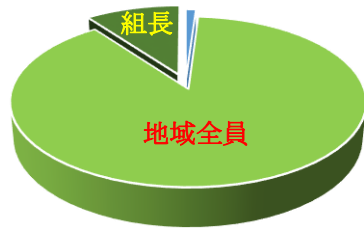
1袋:スーパーの買い物袋

区分	1回当たり	1世帯当たり
カン・アルミカン(本)	6,545	5.2
ビン(本)	2,420	2.3
新聞・雑誌 ほか(冊)	791	0.8
ミックスペーパー(冊)	789	0.7
ペットボトル(本)	6,545	6.2

13 資源物の当番 当番は誰が

当番回数は

〈当番に当たって思うことは〉

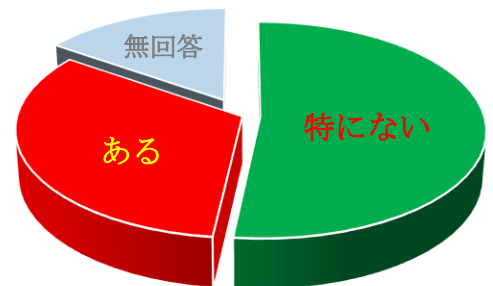
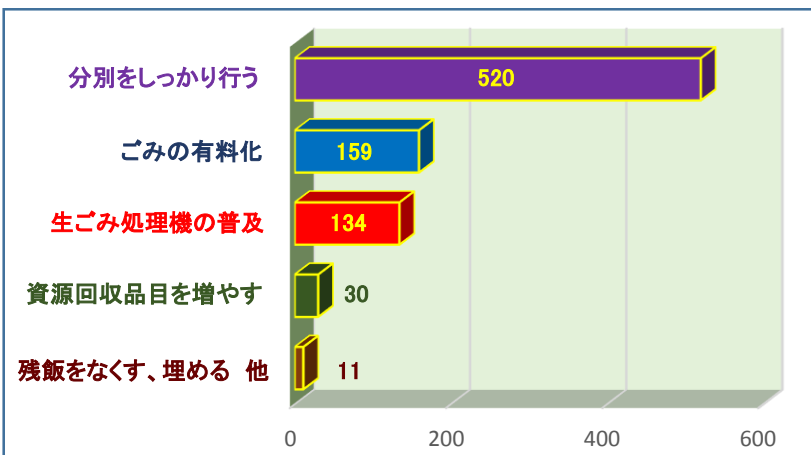


区分	回答数	比率
組長	95	9%
地域全員	836	79%
その他	10	1%

区分	回答数	比率
2回以下	498	47%
3回カラ6回	150	14%
6回以上	6	1%

14 ごみ減量化のためは

15 ごみ問題は



区分	回答数	比率
特にない	498	47%
ある	150	14%

〈ある〉の意見・コメントは次のページを参照

高齢化に伴い、減量化は理解されているが資源物の当番はつらいようだ

16 ごみ対策に関する意見等

ごみ対策アンケートに関する意見は300件を超える意見が寄せられました。

一番多かったものが「ルールに関すること」でした。

ゴミ出しの時間や、分別の問題、動物によるゴミの散らかし問題が小園全域から寄せられました。多かった意見を下記に抜粋致します。

「ルール・マナーに関する意見」

●ゴミの時間を守らない

- ・可燃ゴミ・・・夜間、早朝に出されたゴミが動物に荒らされる。虫や悪臭の発生。
- ・資源ゴミ・・・夜のうちに出了れた衣類、紙、段ボールが、夜半に降った雨でリサイクル不可になる。
- ・回収日そのものを無視して出される。

●分別を守らない

- ・分別ルールを守らず、混ぜて捨てる人がいる。
- ・自治会に加入していない人の捨て方が雑。

●区域外からの持込ごみ

- ・車で通りすぎりにゴミを捨てて行かれる。
- ・粗大ゴミの不法投棄が多い。



ゴミ・資源物の細分化が始まって久しいですが、未だにルール違反が各地で目立つようです。自治会未加入者や、外国人の方にはまずルールをきちんと知ってもらう必要があり、ルールを知っているにもかかわらず違反をする人には、モラルの啓発が必要の様です。

次に多かった意見が、「ゴミ当番・回収制度」に関してでした。

「現在のゴミ当番・回収制度のあり方に関する意見」

●ゴミ当番が辛い・大変

- ・高齢者・・・体力的に無理、冬場の寒さが大変
- ・若年世代・・・仕事を休めない、小さな子供がいるので大変、高齢者の介護の為
- ・自治会員だけが当番をやるのが不公平

●資源ゴミ収集所が遠いので、出すのが大変

また、これらの意見の改善案として次のような声も挙がっています。

- 戸別回収
- 有料化
- 当番やゴミ出しの委託(シルバー人材など)

更に、高齢者に関する意見は幅広く、

- 当番が厳しい
- ゴミ出しそのものが辛い
- 地域そのものが高齢化しており、当番制が限界

などの切実な意見もありました。

